

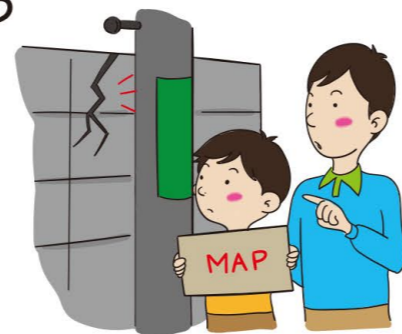
本書は、いつ起こるかもしれないさまざまな災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、日ごろから内容に目を通し理解を深めておきましょう。また、本書の特徴として、災害時に持ち運びができるように冊子型としています。ヒモなどでつるし身近に置き、緊急時に持ち出してご活用ください。

もくじ

● はじめに 1	● 風水害対策 25・26
● 5段階の警戒レベル 2	● 土砂災害対策 27
● 避難所等一覧 3・4	● 火災対策 28
● ハザードマップの見方 5	● 地震対策 29
● 全体索引図 6	● 揺れやすさマップ 30
● 詳細図1~7 7~20	● 大雪・竜巻対策 31
● 避難行動判定フロー 21	● 感染症対策 32
● マイ・タイムライン 22	● 自宅にとどまった場合の備え 33
● 災害時の情報伝達 23	● 非常時持出品・備蓄品 34
● 避難の方法 24	● わが家の「緊急・救急情報」防災メモ	裏表紙

防災ハザードマップの活用方法について

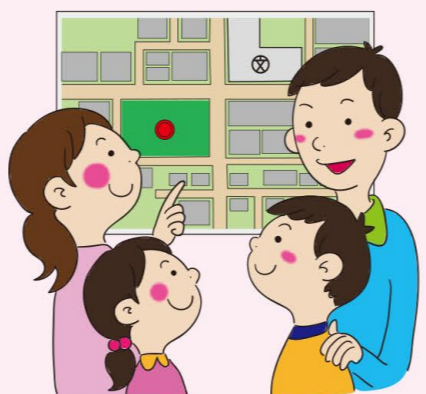
- ① 住んでいる場所と予想される危険箇所を地図上で確認しましょう
- ② 避難場所や避難所を確認しましょう
- ③ 避難経路を考えてみましょう
- ④ 家族や周辺住民と情報を共有しましょう



家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときにあわてず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

- 家の中で一番安全な場所
- 家族一人ひとりの役割分担（安否確認、非常時持出品・備蓄品のチェック）
- 避難所、避難経路（自宅と避難所を確認）
- 自宅付近の災害リスク、危険箇所の確認
- 災害が起こったときの身の守り方
- 家族が離ればなれでいたときの連絡手段、集合場所
- 要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦など）のサポートと避難方法



低	避難情報等(警戒レベル)		河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)	
	警戒レベル状況	住民がとるべき行動	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
			洪水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
1 今後 気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを 高めましょう	早期 注意情報	1 相当	—
2 気象状況 悪化	自らの避難 行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	2 相当	氾濫 注意情報
3 災害の おそれ あり	危険な場所から 高齢者等は避難 ●避難に時間のかかる要配 慮者(高齢者・障がい者・ 乳幼児等)とその支援者 は避難 ●高齢者等以外の人も危険 を感じたら自主的に避難	高齢者等 避難 ※1	3 相当	氾濫 警戒情報 洪水警戒報 大雨警戒報
4 災害の おそれ 高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 相当	氾濫 危険情報 土砂災害 警戒情報
〜警戒レベル4までに必ず避難!〜				
5 災害発生 または 切迫	命の危険 直ちに 安全確保!	緊急 安全確保 ※2	5 相当	氾濫 発生情報 大雨 特別警戒報 (土砂災害)
高				

※1 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
 ※2 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待ってはいけません!

警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。